

# 人むすびの場

第22回テーマ  
“笑顔がつながる暮らし方”  
～世界と日本で始まったエコビレッジ事例～

日時	平成22年4月22日(木) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

# “人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすび(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供など、もろもろご意見をお待ちします。



# プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは  
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ  
「笑顔がつながる暮らし方」  
(NPO法人BeGood Cafe 代表)
- 19:50 ◆人むすびカフェ  
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ  
21:00 終了  
交流会(うさぎ)



## 「笑顔がつながる暮らし方 ～世界と日本で始まったエコビレッジ事例～」

ゲストスピーカー シキタ 純さん(しきた きよしさん)

**地域レベルで持続可能な支え合う生活、笑顔がつながる暮らし方が大事！**

- 私たちのNPOは1999年に『持続可能な社会と平和』に向かって、NOを唱えるよりYES、自分達の出来る範囲から少しずつピースな輪を広げようという目的で始まったコミュニティ・カフェです。
- 2006年、愛・地球博の地球市民村に「ナチュラルフードカフェ＝自然食レストラン」と「オーガニックガーデン＝パーマカルチャー畑」を出展しました。これが、環境負荷の低い「持続可能な生活」、エコビレッジのモデルを感じていただくきっかけとなりました。
- エコビレッジは、持続可能な生活のためのコミュニティ。環境に配慮した建物、サステナブルな土地利用、パーマカルチャー（有機農業）、自然エネルギーを利用し、エネルギーを循環させて生活するエココミュニティで、世界に15000箇所あります。
- ファインドホーン（スコットランド）、クリスタルウォーターズ（オーストラリア）、イサカ（米国）、オーロビル（インド）、木の花ファミリー（日本）などです。
- エコビレッジの5つの特徴は、①地産地消的な暮らし、②地球にやさしい建物、③自然エネルギーの利用、④雨水や排水の循環再利用、⑤地域通過、コーポラティブな組合組織などで地域経済を実践、にあります。
- エコビレッジ国際会議は、環境危機世紀に持続可能なコミュニティの挑戦として、市民発の国際会議として始まりました。低炭素型コミュニティ開発の世界事例、エコロジカル・コミュニティ・モデルの紹介をして都市再生や野山村の地域再生に取り組んでいます。
- 今後、日本は縮退社会にあって、空き家が800軒出てきます。これからは、エコリノベーションでシェアハウスにし、支えあって生きていくことが大事です。足立区の畑のついているエコアパート、静岡県富士宮の木の花ファミ不登校や引きこもりの子どもが元気になる事例や藤野町の里山長屋暮らし藤野町プロジェクトなど、新しい暮らし方が広がっています。
- こういう事例を紹介し、「自然との共生を前提とした持続可能な社会経済システム」への移行に向けて、もっと地域レベルで持続可能で支え合う生活にする話し合いをしていき、笑顔がつながる暮らし方を提案していきたいと思えます。

### 【シキタ 純さん 経歴紹介】

早稲田大学理工学部機械工学科卒業。丸紅(株)勤務後、欧州とのデザイン代理業務事業、音楽制作、ファッション関連制作業務、インターネットコンテンツ事業などを展開。

1999年 ビーグッドカフェ設立

2005年「愛・地球博」に自然食レストランとパーマカルチャーガーデンを展開

2002年(有)ピース・コミュニティ・プランを設立。代表取締役役に就任



# 人むすびカフェ







# 人むすびカフェ

「エコビレッジの未来にどんな広がりがあると感じましたか？」

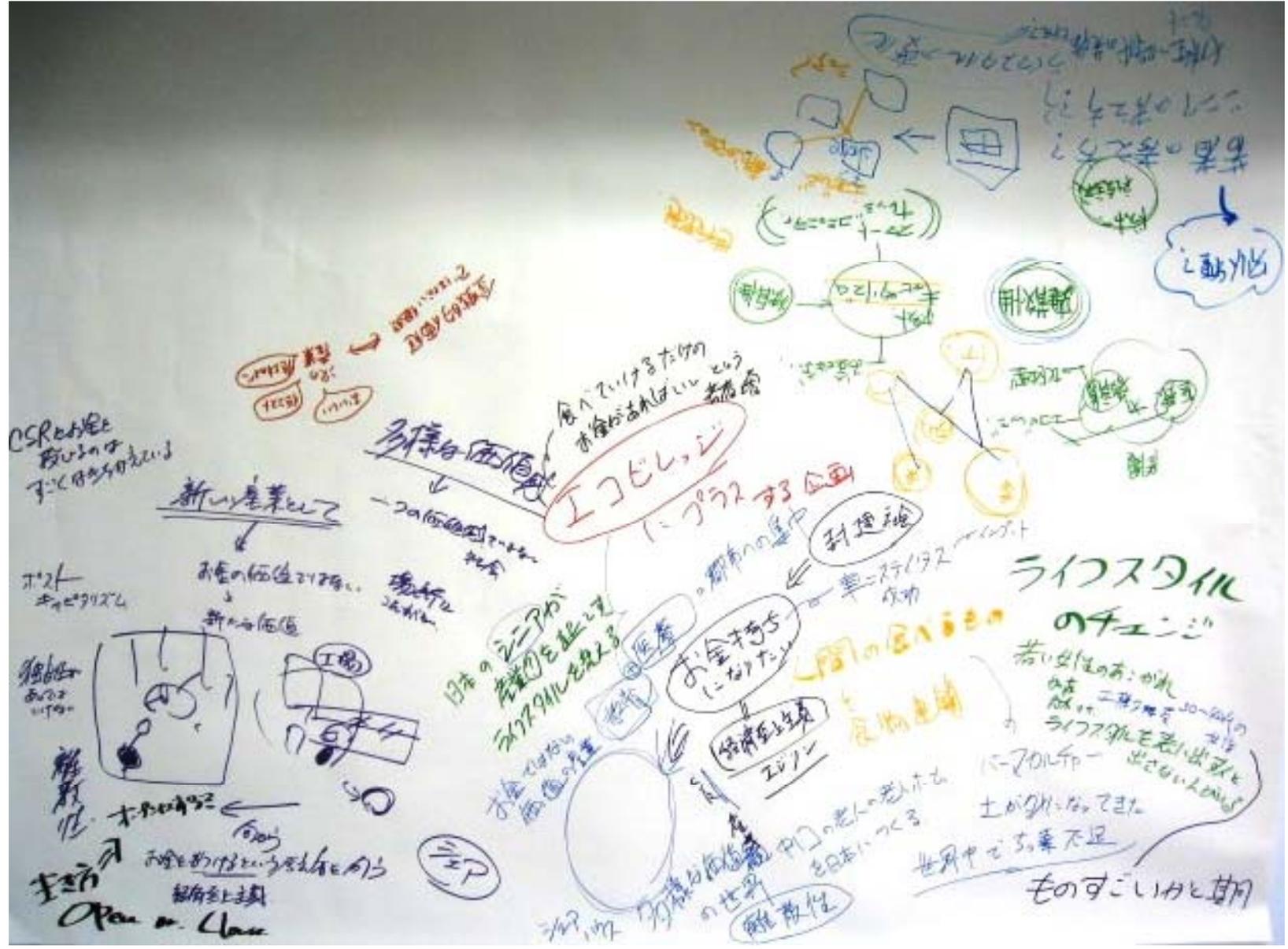
エコビレッジの未来

The mind map explores the future of Eco-Village through several interconnected themes:

- Top Left:** Discusses the relationship between '物' (things) and '心' (heart/mind), and '場所' (place). It notes that '場所' leads to '心', which leads to '物', and that '物' leads to '場所'. It also mentions '20年間の歴史' (20-year history) and '何かが変わった' (something changed).
- Top Right:** Mentions 'エコビレッジ' (Eco-Village) and '人' (people), suggesting a focus on human aspects.
- Center:** The main title 'エコビレッジの未来' (Future of Eco-Village).
- Bottom Left:** Focuses on '農村の活性化' (Revitalization of Rural Areas). It notes '日本全国の現状' (Current situation in Japan) and '土と水' (Soil and Water). It also mentions '耕作放棄地' (Abandoned farmland) and '外に出る' (Going out).
- Bottom Center:** Discusses '都市との連携' (Cooperation with Cities). It mentions '共同作業' (Joint work) and '2000年' (2000).
- Bottom Right:** Focuses on '新しい産業' (New Industries). It notes '20年前から' (Since 20 years ago) and '多様な' (Diverse). It also mentions '文化?' (Culture?) and '経済化' (Economic growth).

# 人むすびカフェ

「エコビレッジの未来にどんな広がりがあると感じましたか？」



## 本日の感想①

### \* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・エコビレッジの根本にあるものは多様で深い。
- ・日本と海外のバックグラウンドの違い、思想的なことなど
- ・同時共存性
- ・今までとは違う何かを皆さん求めているのだなあと思った。
- ・みなさんがそれぞれ変化に敏感であると思いました。
- ・「エコ」という言葉の定義を一度もせずに「エコ」を語った。  
共感しながら進んだ
- ・普段は福祉業界にいるので皆さんは経済的な観点から話しているのを聞いてハッとしました。
- ・エコビレッジー閉鎖的なイメージ 地方も変わらないと生き残れない
- ・エコビレッジは多様性がある。人とのつながりが大切
- ・エコビレッジ再認識、色々すごいです
- ・エコビレッジの根底にあるもの、理念や考え方にとっても興味はわきました。  
自分が学ぶところからはじめてみます
- ・改めて“どこまでシェアできるか”という問いに気付いた。
- ・まだまだ一般的ではないのですね。
- ・様々な思い
- ・世界の動きになっている。日本の中の都市と地方というだけでなく、海外とのつながり
- ・日本の流れを確信しつつある？
- ・色々な立場から色々な意見が聞け、頭がリフレッシュできた。

## 本日の感想②

\* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・変化
- ・金銭的価値ではない価値観 若者の価値観 格差
- ・混ざって住む
- ・あらゆる立場の人に魅力的に感じてもらう
- ・『どこかに収益性があること』
- ・混ざる・共存・離散(物理的)・多様な立場
- ・混ざって暮らす・・・今は均質すぎリアリティを感じにくい
- ・人がつながり、価値観を共有できる生活
- ・豊かさの追求
- ・300年かけて完成させる理想
- ・パーマカルチャー・GDH・米国他海外でのエコビレッジの活動
- ・男性の時代、女性の時代は交互にくること。機能をシェアする時代へ
- ・どこまで人とシェア(共有)できるのか？にかかっているのでは・・・と感じました。
- ・女性の時代、支え合い
- ・若い女性の活躍の場 ~その感性
- ・離散性 ライフスタイルのチェンジ
- ・エコビレッジの女性の働き方、動き方

## 本日の感想③

\* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・時間があっという間に過ぎてしまいました。深いテーマでした。
- ・多くの方とお話できて良かったです。ただ、時間がもっとあればいいと思いました。また参加したいと思います。
- ・今日は僕の中でもやもやしていたものに少しフレームが出来たのでとてもスッキリシマシタ
- ・時間があっという間に過ぎました。
- ・進行の仕方、カフェのルールなどよかった。お互い尊重し合えて
- ・普段会えない人と出会えた。遅刻してしまった。
- ・十人十色、いろんな違った考えや意見が聞けて良かったです。
- ・今回も遅くなりいろんな考え方を聞けなかったこと
- ・もう少し時間があれば・・・
- ・日本のエコビレッジはむずかしいですけども、ひもとくと色々見える様な気がしました。
- ・とても勉強になりました。大変満足しています。ありがとうございました。
- ・様々な視点からエコビレッジを考えることができた。広がっていくと改めて感じた。
- ・いろんな違う職種の人たちの観点が聞いたことが良かったです。
- ・そろそろ新しい運動が起こる頃ですかー
- ・エコビレッジを多様な視点で見ることができた。
- ・やっぱり20分はみじかすぎると思います。
- ・今後どう展開できるかを考えられるともっと良かった。

**皆さん、一緒に場をつくってくださってありがとうございました。**